



令和6年9月5日13時00分
近畿地方整備局

「NIPPON 防災資産」が誕生！ ～近畿地方整備局管内で 3件が「優良認定」 1件が「認定」として認定～

内閣府及び国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを「NIPPON 防災資産」として認定する制度を、令和6年5月に創設しました。

このたび、有識者による選定委員会での審議を踏まえ、本制度の創設後初めて、**近畿地方整備局管内においては4件（優良認定：3件、認定：1件）が認定されました**のでお知らせします。

今後、認定された防災資産において、**その価値がさらに高まり、各地域における防災力の向上を牽引**していただくことを期待します。

1. 今回認定された「NIPPON 防災資産」について（近畿地方整備局管内）・・・別紙1

【優良認定】

※下記括弧書きは活動拠点

- ①阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター（兵庫県神戸市）・・・別紙2
- ②和歌山県土砂災害啓発センター（和歌山県那智勝浦町）・・・別紙3
- ③稲むらの火の館（和歌山県広川町）・・・別紙4

【認定】

- ④福知山市治水記念館（京都府福知山市）・・・別紙5

2. 認定証伝達式について ※詳細は別紙6参照

下記「認定」案件については、実施・運営機関へ認定証の伝達式を開催します。

④福知山市治水記念館（京都府福知山市）

■開催日時：令和6年9月19日（木）15時15分～15時45分

■開催場所：京都府福知山市下柳39 福知山市治水記念館2階

■取材：報道関係者も同席可能です。（事前申込み制） ※詳細は別紙7参照
取材を希望される方は、令和6年9月12日（木）17時までに電子メール（tanaka-r86ds@mlit.go.jp、nakanishi-r86yk@mlit.go.jp、fukuo-ka-r86wz@mlit.go.jp）にてお申込みください。

■その他：一般来場者の方は入場できません。

3. 「優良認定」案件の認定式について

「優良認定」案件については別途認定式が開催されています。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_001263.html>

《NIPPON 防災資産》

本認定制度は、認定された防災資産を通じて、住民一人一人が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、災害リスクの自分事化を図るとともに、主体的な避難行動や地域の防災力の更なる向上につなげていただくことを目的としています（参考1：「NIPPON 防災資産」の認定制度について）。

今回の認定にあたっては、全国の流域治水協議会※等を通じて抽出された防災資産の候補案件を対象に、有識者による選定委員会（参考2：第1回選定委員会メンバー）での審議を経て、「優良認定」・「認定」案件を内閣府特命担当大臣（防災担当）及び国土交通大臣が認定を行いました。

（※流域治水協議会：関係する河川管理者、都道府県、市区町村、企業等が参画し、流域治水を推進するための組織）

➤本日、「NIPPON 防災資産」に関するウェブサイトを立ち上げておりますので、詳細はこちらを御覧ください。【<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/index.html>】

<取扱い>

<配布場所>近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、兵庫県政記者クラブ、
神戸民間放送記者クラブ、和歌山県政担当記者クラブ、
京都府政記者クラブ、福知山市政記者クラブ

<問合せ先>

■「NIPPON防災資産」認定制度について

近畿地方整備局河川部 河川計画課 課長 小杉 恵、課長補佐 村田 浩之
電話：06-6945-6355

■①「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」について

人と防災未来センター 運営課 課長 森川 徹
電話：078-262-5502

■②「和歌山県土砂災害啓発センター」について

和歌山県土砂災害啓発センター 所長 稲田 健二
電話：0735-29-7531

■③「稲むらの火の館」について

広川町教育委員会 社会教育班 班長 谷口 愛
電話：0737-23-7795

■④「福知山市治水記念館」について

福知山市 地域振興部次長兼文化・スポーツ振興課課長 井上 郷太郎
電話：0773-24-7033

第1回 NIPPON防災資産 (近畿地方整備局管内)

別紙 1

「優良認定」

No.	名称	活動拠点	対象災害	選定委員会での選定理由（参考）
1	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	兵庫県 神戸市	阪神・淡路大震災	当該センターでは、阪神大震災における体験談を交えた展示や体験できるコーナーが充実しているとともに、語り部ボランティアによる講話（被災体験談）、気軽に参加できる語り部ワークショップ、小中学生等を対象にした防災セミナーが多く実施されている点が特に優れている。
2	和歌山県土砂災害 啓発センター	和歌山県 那智勝浦町	平成23年紀伊半島 大水害	平成23年紀伊半島大水害の被災者が自身の被災体験で学んだ教訓を伝承するため、手書きの紙芝居を製作し、語り部活動を多く実施していることや県内外の自治会や自主防災組織、行政団体等を対象とした団体啓発研修等にも積極的に取り組んでいる点が特に優れている。
3	稲むらの火の館	和歌山県 広川町	安政南海地震	津波の恐ろしさを伝えるだけでなく、施設展示にて、様々なシチュエーション（町中を歩いている時、車を運転している時等）での対処方法がまとめられており、地震津波から身を守るための知恵が示されている。また、当該施設を拠点とする広川町日本遺産ガイドの会により、町内小学生を対象とした「ごりよう語り部ジュニア」講座が開催されるなど、次世代への継承に努めている点が特に優れている。

「認定」

No.	名称	活動拠点	対象災害	選定委員会での選定理由（参考）
4	福知山市治水記念館	京都府 福知山市	昭和28年9月 台風第13号等	治水記念館は明治期の治水対策が施された家屋を改修しており、当時の水害対策設備が展示され、建物そのものが過去の水害の教訓を語り継ぐ歴史的な資料となっていることや被災者の体験談の映像が残され放映されている点が優れている。

➤ 本日、「NIPPON 防災資産」に関するウェブサイトを立ち上げておりますので、詳細はこちらを御覧ください。
【<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-shisan/index.html>】

2024



優良認定

第1回 NIPPON防災資産

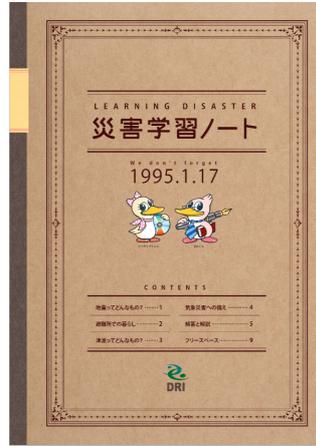
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 兵庫県



「阪神・淡路大震災記念 防災未来センター」外観
(写真提供: 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター)



語り部が自らの体験を語る「語り部コーナー」



来館者が自由に持ち帰ることができるオリジナル教材

(出典: 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 公式ホームページ)

優良認定のポイント

- 阪神大震災における体験談を交えた展示や体験できる充実したコーナーが設置されている。
- 語り部ボランティアによる講話（被災体験談）、気軽に参加できる語り部ワークショップ、小中学生等を対象にした防災セミナー等の多様な取り組みが行われている。



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター
公式ホームページ
QRコード

2024



優良認定

第1回 NIPPON防災資産

和歌山県土砂災害啓発センター

和歌山県土砂災害啓発センター



「和歌山県土砂災害啓発センター」外観



手作りの紙芝居による語り部活動



当時の生々しい体験を聞き、実際に目にした光景が描かれているので、とても他人事とは思えない、臨場感のある紙芝居となっています。

手作りの紙芝居はYouTubeでも配信

(写真提供：和歌山県土砂災害啓発センター)

優良認定のポイント

- 平成23年紀伊半島大水害の被災者が自身の被災体験で学んだ教訓を伝承するため、手書きの紙芝居を製作する等の工夫を凝らした、多くの語り部活動が実施されている。
- 県内外の自治会や自主防災組織、行政団体等を対象とした団体啓発研修等への積極的な取組が行われている。



和歌山県
公式ホームページ
QRコード

2024



優良認定

第1回 NIPPON防災資産

稲むらの火の館
広川町教育委員会

「稲むらの火の館」全景（鳥瞰写真）



広村堤防



稲むらの火祭り

(写真提供：稲むらの火の館)

優良認定のポイント

- 津波の恐ろしさを伝えるだけでなく、施設展示にて、様々なシチュエーション（町中を歩いている時、車を運転している時等）での対処方法のまとめによる、地震津波から身を守るための知恵が提示されている。
- 当該施設を拠点とする広川町日本遺産ガイドの会による町内小学生を対象とした「ごりよう語り部ジュニア」講座の開催等、次世代への継承への取組が行われている。

稲むらの火の館
公式ホームページ
QRコード

2024



認定

第1回 NIPPON防災資産

福知山市治水記念館 福知山市



「福知山市治水記念館」外観



過去の水害の体験談を放映



「福知山市治水記念館」展示



避難時の荷揚げ用滑車

(出典：公式ホームページ、写真提供：福知山市)

認定のポイント

- 治水記念館は明治期の治水対策が施された家屋を改修しており、当時の水害対策設備が展示され、建物そのものが過去の水害の教訓を語り継ぐ歴史的な資料となっていると共に、被災者の体験談の映像が残され放映されている。



公式ホームページ
QRコード

(出典：案件担当者からの提出資料等)

第 1 回「NIPPON 防災資産」認定証伝達式

式次第（案）

日時：令和 6 年 9 月 1 9 日（木） 1 5 時 1 5 分～1 5 時 4 5 分

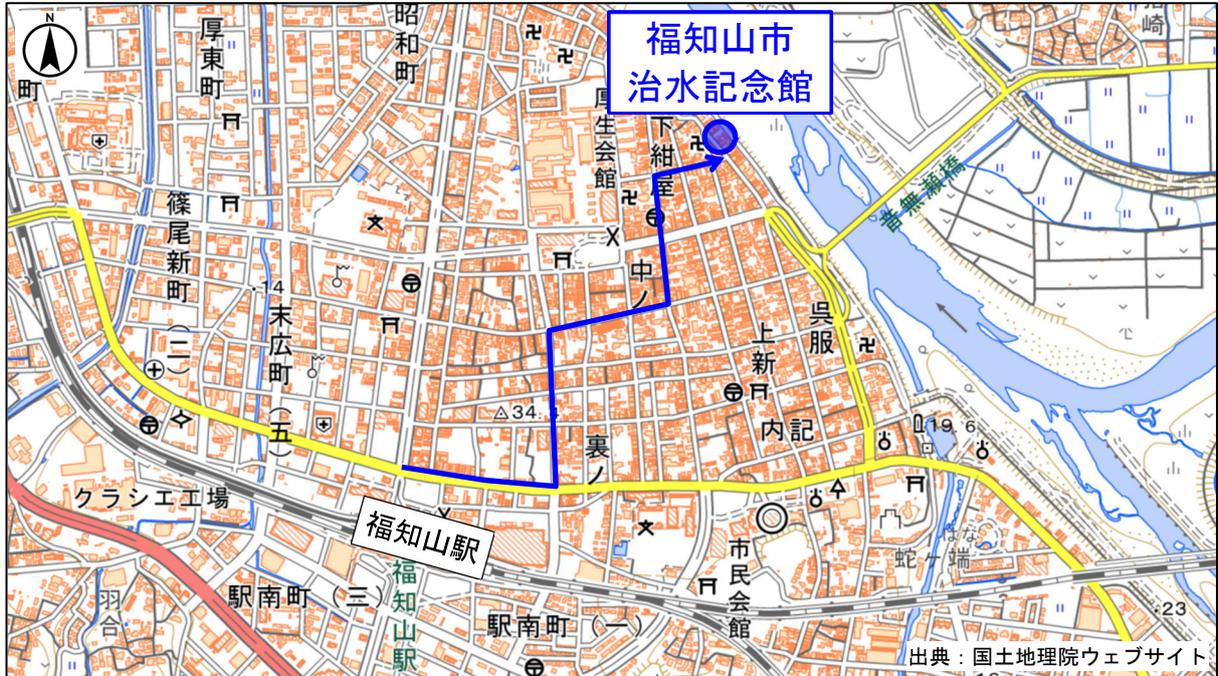
場所：福知山市治水記念館 2 階

1. 開式
2. 国土交通省近畿地方整備局 挨拶
3. 認定証伝達
4. 福知山市 挨拶
5. 閉式

※本式次第は現時点の予定であり、内容を変更する場合があります。

認定証伝達式 会場

(福知山市治水記念館 2階)



住所：京都府福知山市下柳39

アクセス：JRまたは京都丹後鉄道「福知山駅」から徒歩15分

福知山市治水記念館 正面



認定証伝達式 出席予定者

※敬称略

組織名・役職	氏 名
福知山市長	大橋 一夫
近畿地方整備局 河川部長	常山 修治
近畿地方整備局 福知山河川国道事務所長	大西 民男

※本出席予定者は現時点の予定であり、変更になる場合があります。

報道関係者皆様へのお知らせとお願い

■ 申込み方法：

取材を希望される方は、令和6年9月12日（木）17時までに、電子メールでの事前申込みをお願いします。

[電子メールでの事前申込み]

メール本文に ①貴社名 ②所属部署名 ③御担当者の氏名（ふりがな） ④御同行者の氏名（ふりがな） ⑤御連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）を記載のうえ、下記送付先まで御送付ください。

【送付先】福知山河川国道事務所 流域治水課 田中、中西、福岡

tanaka-r86ds@mlit.go.jp

nakanishi-r86yk@mlit.go.jp

fukuoka-r86wz@mlit.go.jp

■ 取材にあたってのお願い：

下記のとおり、式の円滑な進行に御協力くださいますよう、お願いいたします。

- 記者及びカメラマンの方は、開式時間の10分前までに会場へお越しいただくとともに受付をお済ませください。
- 記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いいたします。着用がない場合は、取材を御遠慮いただく場合があります。
- 伝達式開催中の写真・動画撮影にあたっては、進行の支障とならないようお願いいたします。また、伝達式開催中の出席者への直接的な取材は御遠慮くださいますようお願いいたします。
- 伝達式閉式後、報道関係者皆様向けに「福知山市治水記念館」の説明を予定しています。
- 式遂行上の都合により、内容及び時間に変更になる可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。
- 会場に報道関係者皆様の駐車場はございませんので、周辺駐車場を御利用ください。

- 内閣府、国土交通省では、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動※などを「NIPPON防災資産」として認定する制度を新たに創設（令和6年5月）。
[内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣が認定] ※活動：語り部、防災に係る催事、防災ツアー等
- 今後、認定された防災資産を通じて、住民の方々が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、災害リスクを自分事化し、主体的な避難行動や地域に貢献する防災行動につなげていく。

背景

- 近年、全国各地で災害が発生し、災害後には「まさか自分が被災者になるとは…」という声が発せられるなど、多くの人が災害を自分のこととしてとらえていない。
- 一方で、過去の災害の伝承により、命が救われた事例もある。

災害リスクの自分事化に向けて

- 認定された防災資産を通じて、住民の方々が過去の災害の教訓や今後の備えを理解することで、「災害リスクを自分事化」し、「主体的な避難行動」や「地域に貢献する防災行動」につなげる。

内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣による認定

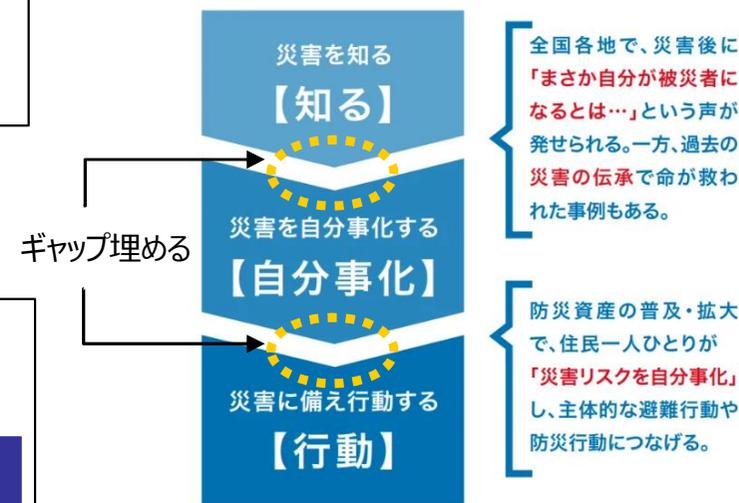
- 内閣府特命担当大臣（防災担当）、国土交通大臣が認定を実施。
「優良認定」、「認定」に区分。

- ・「NIPPON防災資産」認定証の授与
- ・ウェブサイト等でコンテンツを紹介

防災資産の普及・拡大によりこの国に暮らすひとりひとりが、災害リスクを自分事化し、主体的な防災行動へ



ロゴマーク



○委員名簿

氏名	所属
大知 久一	一般社団法人日本損害保険協会専務理事

(委員長) 佐藤 翔輔	東北大学災害科学国際研究所准教授
-------------	------------------

曾山 茂志	全国地方新聞社連合会会長 (西日本新聞社執行役員東京支社長兼編集長)
-------	---------------------------------------

徳山 日出男	一般財団法人国土技術研究センター理事長
--------	---------------------

(敬称略、五十音順)